

★先輩のイノベーションチャレンジの例



①

- ① ベトナム出身者の離職防止や幸福度向上のための取組
(環太平洋大学・IPUサステナブルブランドプロジェクト)
- ② 規格外果物を活用した新商品の開発と販売
(ノートルダム清心女子大学・nopak)
- ③ クラフトビールを活用した地域活性化
(岡山県立大学・OPU Craft Beer Lab)
- ④ 6次産業化に取り組む企業と農業高校との協働の促進
(環太平洋大学・IPU環太平洋大学大池研究室)
- ⑤ 古墳グッズの開発と販売
(学校法人武田学園・専門学校ビーマックス)



②



③



④



⑤

★参加した先輩や先生からのメッセージ

先輩から

- このプロジェクトを通じて岡山の魅力を改めて認識することができました。21年間岡山に住んでいますが、自分の住む街について、新たな発見をすることができたと思います。
- 報告会では、他の大学の学生がどのような活動を行い、岡山を盛り上げているのかを知ることができ、各グループの斬新な取組みに大いに刺激を受けました。また、大勢の人の前でのプレゼンはとても緊張しましたが、大変貴重な経験になりました。

先生から

- 学生自身が様々な団体や企業とコンタクトを取るこのプロジェクトは、社会人としての基礎知識や、今後進むべき方向性を学び、考えられる良い機会であると感じました。
- 学生の取組みに対する手厚い補助をいただき大変感謝しています。地域と連携した活動は、長期間継続して行っていくべきものと考えますので、次年度以降も学生のチャレンジを応援していきたいと思っています。

今だからできる、チャレンジがある!!

学生の手で課題を好機に変えるイノベーションプロジェクト



ノートルダム清心女子大学
nopak



環太平洋大学
IPUサステナブルブランドプロジェクト

★プロジェクト概要

若者ならではの柔軟なアイデアの提案や実践によって地域課題を解決する活動や小規模ビジネスへの挑戦をサポートする事業です。

★こんな人は是非参加しよう

- 地域課題の解決に挑戦したい学生
- ビジネスアイデアを試してみたい学生
- 地域を盛り上げるアイデアを試したい学生
- ガクチカのネタが欲しい学生

★申請期間

令和7年4月18日(金)～5月30日(金)

【問い合わせ先】

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)
TEL 086-803-1043/FAX 086-803-1732(※土・日曜、祝日を除く 8:30~17:15)
Mail: seisakukikaku@city.okayama.lg.jp

★補助金額・採択件数

上限 **30万円**

(補助率 10/10以内)

採択件数 **20件**程度

詳しくは
QRコードから!!



<本事業への寄附企業>
メタコート工業株式会社

※国の地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、令和6年度に寄附をいただきました。

★対象団体・活動コース

<対象団体>

大学・短期大学・専門学校の教職員を代表者とした学生3名以上で構成されている
団体・グループ

| 活動コース | ソーシャルビジネスチャレンジ | スモールビジネスチャレンジ |
|-------|--|---|
| 概要 | 行政機関、企業、NPO及び地域団体等とコラボ(協働)し、岡山市内及び岡山市外(※1)における地域課題の解決や地域活性化を図る事業 | 収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業 |

(※1)岡山市以外での活動について

岡山市以外(岡山連携中枢都市圏)での活動についても、岡山市内での活動とあわせて行われる場合は対象とします。

岡山連携中枢都市とは、岡山市と近隣市町村とで形成する都市圏のことであり、このプロジェクトで対象となる市町は、「総社市」「備前市」「真庭市」「久米南町」「吉備中央町」です。

★補助金の交付先

補助金は活動後に対象経費として認められる部分の金額を大学、短期大学、専門学校に交付します。

★審査基準

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、審査を行います。

| 審査項目 | 審査基準 | ソーシャル | スモール |
|-------------|---|-------|------|
| 活動のニーズ | 活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。 | 必須 | 必須 |
| 効果 | 目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。 | 必須 | 必須 |
| 協働の深さ | 学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。 | 必須 | 加点 |
| モデル性・将来性 | 学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。 | 必須 | 必須 |
| アイデア・チャレンジ性 | 独創性やチャレンジ性のある活動か。 | 必須 | 必須 |
| 収支予算の適切さ | 適切な収入・経費で予算を立てているか。 | 必須 | 必須 |
| 財源の獲得 | 事業に必要な財源について、補助金以外の獲得手段を計画しているか。 | 加点 | 必須 |

★申請方法

ステップ ① 申請したいと思ったら・・・

まずは、先生や事務職員さんに相談してみましょう。このプロジェクトは、大学等の教職員が団体・グループの代表者である必要があります。

アドバイス



- ◇ 第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読むことをお勧めします。
- ◇ 事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り地域の方や関係する行政機関等の意見を聞くとヒントがあるかもしれません。
- ◇ 自分がやりたいことをするのは大事なことですが、地域の方の思いも反映されるような取り組みとなるように考えてみてください。

ステップ ② 申請書を書いてみよう！

このプロジェクトに係る要綱及び申請書等は、右のQRコードのリンク先からダウンロードできます。

検索

R7岡山市学生イノベーションチャレンジ



ステップ ③ 困ったら相談しよう！

募集期間中は、随時、相談を受け付けます。**活動内容やコラボする相手など**、お困りの点について、ご相談ください。

なお、相談にあたっては、下記の問い合わせ先まで**メール**でご連絡ください。

ステップ ④ 申請しよう！

申請から実績報告までのスケジュール(期間内に申請書類を提出してください。)

| | | |
|----|----------|---|
| 申請 | 募集期間 | 令和7年4月18日(金)～5月30日(金) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着 |
| | 提出方法 | 下記の問い合わせ先へ 大学名 にて提出 申請に必要な提出物は5部(参考資料がある場合はそれらも5部) |
| 活動 | 補助金交付決定 | 6月上旬から随時審査して決定 |
| | 活動期間 | 補助金交付決定(6月上旬)～活動報告会(2月14日)予定 |
| 報告 | 報告会 | 中間報告会:10月18日(土) 活動報告会:令和8年2月14日(土) ※活動報告会では、優良事例の表彰も併せて行います。 |
| | 実績報告書の提出 | 令和8年2月末 |

【問い合わせ先】

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL 086-803-1043/FAX 086-803-1732(※土・日曜、祝日を除く 8:30~17:15)

Mail:seisakukikaku@city.okayama.lg.jp